

第6ブロック地域力向上会議

地 域 力 向 上 事 業

地域で未来を語ろう。

第6ブロック地域力向上会議

地 域 力 向 上 事 業

地域で未来を語ろう。

S E I B U
地域づくりプラン

才原 Saibara



大簾 Oomisu



広野 Hirono



出野 Ideno



稲次 Inatsugi

企画／第6ブロック地域力向上会議
編集／京丹波町和知支所まちづくり推進担当
発行／第6ブロック区長会
発行日／2009年(平成21年)12月

S E I B U

和知西部
地域づくりプラン

才原・大簾・広野・出野・稲次

写真◎舟戸橋から眺める由良川の風景

◎はじめに

この企画書は、和知地区第6ブロック地域（才原・大簾・広野・出野・稲次）の住民が一堂に会し、今後の地域づくりのあり方をワークショップ形式で話し合う「地域力向上会議」において企画されたものです。

地域力向上会議には5集落から約30人の地域の皆さんが参加。7月から11月まで月1回ペースで全5回のワークショップを開催しました。地域の魅力や課題の掘り起こしから始め、次に、魅力や課題を「環境美化」や「安心安全」「地域コミュニティ」「地域活性化」など

のテーマに分類し、各テーマの魅力を生かした取り組みや課題解決策を練りました。

このように、本書に提示した5つの活動企画は、参加者の皆さんの地域に対する情熱と地道な話し合いの積み重ねで築いた成果であり、美しいふるさとを次世代に引き継ぐ、明日の地域づくりの「きっかけ」でもあります。この企画書は“ゴールではなくスタート”。本書に示した活動

■地域力向上会議(これまでの経過)

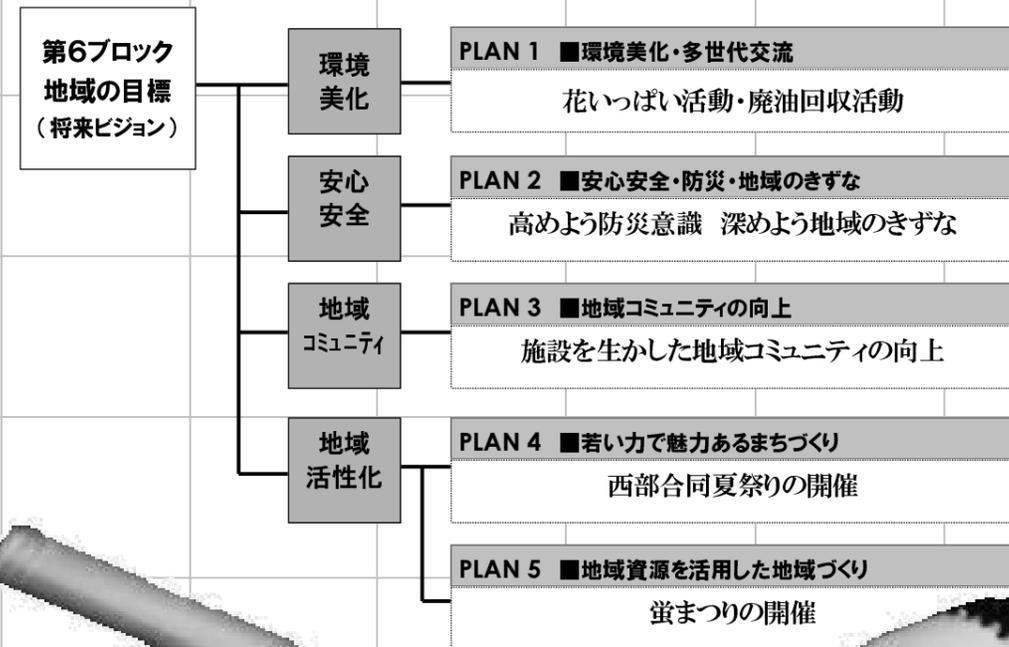
回	日時	場所	テーマ	参加者数
第1回	7月24日	出野教育集会所	住民自治組織によるまちづくりとは	33人 (男/18 女/15)
第2回	9月8日	広野公民館	地域の魅力や課題を探そう	25人 (男/10 女/15)
第3回	10月8日	才原生活改善センター	自分たちでできることを考えよう	23人 (男/10 女/13)
第4回	11月4日	出野教育集会所	具体的な企画書をつくらう	16人 (男/9 女/7)
第5回	11月30日	広野公民館	活動実践や課題解決のシステムを考えよう	23人 (男/8 女/15)

Workshop Photograph



Workshop Photograph

◎第6ブロック地域づくりの体系図



PLAN-1 環境美化・多世代交流

花いっぱい活動・廃油回収活動

各集落において、子どもから高齢者までが集う場が少なくなっていることから、花作りを通じて、美しい生活環境をつくとともに、各集落における多世代交流を推進します。

まずは集落単位で花作り活動に取り組み、徐々に活動の輪を広げ、多世代交流ではぐくん

だ花で各公民館やグラウンド、駅、わちICなどを飾り、花いっぱいの西部地域づくりをめざします。

さらに花いっぱい活動から環境活動へ。まずは西部地域の全集落で廃食用油回収活動に取り組みます。

目的

環境美化

集落単位での花作り活動をきっかけに活動の輪を広げ、花いっぱいの美しい地域づくりをめざします。さらに廃食用油回収活動にも取り組み環境意識の向上を図ります。

多世代交流

近年、各集落において子どもからお年寄りまでが集い、交流する機会が少なくなっていることから、花作りを通じて多世代交流の場をつくります。

内容

花いっぱい活動

- 各集落で花作りを実施。（まずは花作りができる人たちで実践し、活動の実践を通じて理解の輪を広げます。）
- 子ども会、婦人会、老人会などに参加を呼びかけ、多世代交流の機会をつくります。
- 各公民館やグラウンド、駅、わちICなどを花で飾り、花いっぱいの西部地域へ。
- 多世代交流の一つの「きっかけ」としての花作り活動。集落ごとに咲いた「交流」を西部地域全体の交流へとつなげます。

廃油回収活動

- 家庭から出る廃食用油の回収活動を西部地域全集落で実施します。
- 各集落に回収ステーションを設置し、廃油を一カ所に集めます。

※ 廃食用油回収活動は、地域で身近にできる環境活動として町内で広がりを見せています。回収した廃食用油は業者が引き取り、バイオディーゼル燃料に精製します。捨てるしかなかったてんぷら油が、この活動を通じて比較的環境負荷の少ないエネルギーに生まれ変わります。

PLAN-2 安心安全・防災・地域のきずな

高めよう防災意識 深めよう地域のきずな

安心安全な地域づくりを実現するため、西部地域合同で防火講習会を開催するなど、地域住民の防災意識を高めていきます。

また、台風や地震、火災など災害時には自助・公助と並んで「共助」が欠かせません。災害時に備え、ふだんから地域住民の横のつながりを持つことが重要あるため、地域内の高齢世

帯や一人暮らし世帯、通学する子どもなどへの声かけ運動を展開するなど日常生活の中からネットワークづくりを進めます。

このように防災・防火活動を通じて、住民一人ひとりの防火意識を高めるとともに、活動を通じて、地域住民相互のつながりや一体感、きずなをはぐくみます。

目的

防災意識を高める

西部地域合同の防火講習会や防災に関する意見交流会などを実施し、地域住民一人ひとりの防災意識を高めます。

地域のきずなをはぐくむ

災害時に備えて。日ごろから地域住民の横のつながりを持っておくことが大切です。高齢世帯や独居世帯、子どもたちへの声かけ運動などを通じて、地域住民相互のつながりや一体感、きずなをはぐくみます。

内容

西部合同防火講習会

- 西部合同で各区役員や消防団員、消防団OBなどが連携して防火講習会を開催。
- 会場は、西部グラウンド（広野）や各区公民館。
- 内容は、消火器や消火栓の取り扱い訓練など。

声かけ運動

- 地域内の高齢世帯や独居老人世帯などへの訪問・声かけを展開し、災害時に備えて日ごろからつながり（ネットワーク）を保っておきます。
- 通学児童への声かけ運動を通じて世代間の交流をはぐくみます。

意見交流会

- 避難方法・経路、災害時の対応などについて地域住民で話し合います。
- こうしたふだんの取り組みを、災害時の「共助」へとつなぎます。

※ これらの活動を地域住民みんなで取り組むことで、つながりや一体感、きずなをはぐくみます。

PLAN-3 地域コミュニティの向上

施設を生かした地域コミュニティの向上

西部グラウンドや西部交流センターなど地域内の施設を拠点として、西部地域合同の運動会や盆踊り大会といったイベントや、高齢者が集い交流する地域サロン活動などの日常的な活動を行い、地域コミュニティの向上と地域内施設

の有効利用を図ります。

さらに、将来的には、こうしたさまざまな活動の実施から生まれる力を、地元のJR「立木駅」の活性化にもつなげていきたいと考えています。

目的

地域コミュニティの向上

次に掲げるさまざまなイベントや日常的な取り組みを通じて、西部地域の人びとが集う機会をつくり、地域のつながりや一体感、住民のきずなをはぐくみます。

施設の有効活用

西部大運動会などのイベントや地域サロンといった日常的な取り組みを地域内の施設を使って行うことで、施設の有効利用につなげます。

内容

西部グラウンドを活用して・・・

- 西部大運動会の開催
- グラウンドゴルフ大会の開催
- 盆踊り大会（文七踊りの継承）など。

西部交流センターを活用して・・・

- わいわいがやがや地域サロンの開設・運営
- 多世代・男性料理教室の開催
- カラオケ大会の開催
- 和知太鼓の継承活動（発祥の地としてのPR、保存・継承）など。

※ これらの活動を将来的には、地元のJR立木駅の活性化につなげていきます。

PLAN-4 若い力で魅力あるまちづくり

西部合同夏祭りの開催

祭りのコンセプト（理念）は、目的を達成するために、西部合同夏祭りを地域の若い力（若い考え方や情熱）でつくりあげていくというもの。祭りの企画・運営の場を、地域に在住する若者たちの活躍や集う楽しみ、何か一つのことを成し遂げていく喜びを実感できる場としてい

きます。また、祭りを将来にわたって継続し、定着させることで、次世代の地域への定着・定住などにつなげます。

こうした若い力でつくる夏祭りを町外へもPRし、西部地域のにぎわいづくりにも貢献します。

目的

出身者の帰省・Uターンのきっかけづくり

夏祭りを、西部地域出身者にとって「心のふるさと、よりどころ」、帰省や将来的なUターンの一つのきっかけづくりとして位置づけます。

子どもの思い出づくり・体験づくり

次代を担う子どもたちの地域への愛着や誇りを培う、さまざまな体験の場をつくりまします。（将来的な定住やU Jターンにつなげます。）

内容

西部合同夏祭りの開催

- 最初はごく普通の夏祭りからスタートします。（初めから無理しない）
- 夏祭りを継続していきながら、徐々に内容を充実させていきます。
※さまざまな催し（オプションメニュー）
 - （1）スポーツ大会【子ども同士や親子で楽しめる種目設定。サッカー、ドッジボールなど】
 - （2）由良川で筏くんだり【例えば出野から舟戸橋付近まで】
 - （3）大流しそうめん大会【可能な限り大掛かりに。宣伝(PR)効果の高い内容に。】
 - （4）どデカ料理づくり大会【各家で採れた食材を持ち寄り、可能な限り大盛り料理作り。】
 - （5）子どものステージ発表【子どもたちの歌や合奏など発表の場】
 - （6）仮装大会・素人名人会【個人の趣味や特技の発表の場】
 - （7）ふるさとコンサート【地域出身ミュージシャンなどによるコンサート】
- 会場周囲に“漁火”を焚いたり、オープンカフェを設けたりして会場全体を演出。
- 区、個人、団体に好きな店を出して祭りを盛り上げ。
- 祭りの開催案内を出身者に送ります。

※ 資金調達は、祭りの一環としてフリーマーケットを実施するなど自主財源を確保。そのほか、募金活動や区負担金をお願いするなど。

活動を実践するために

地域力向上会議の最終回(第5回会議)では、企画立案したプランを実践していくための組織体制や活動推進のあり方について話し合いました。

PLAN-5 地域資源を活用した地域づくり

蛍まつりの開催

地域資源(宝)の中でも蛍に着目。西部地域には大簾など蛍が乱舞する名所があるので、そうした地域の魅力を外へ発信することで、この地を訪れる交流人口の増加と地域活性化につなげます。

また、蛍まつりといったイベントを開催し、地域住民の交流の場にするなど、西部地域の資源を活用した地域コミュニティの向上をめざします。

目的

地域の魅力発信、にぎわい・交流の創出

地域資源(宝)を生かして西部地域の魅力を発信。この地を訪れる交流人口を増やし、地域のにぎわい・交流を創出します。

内容

蛍まつりの開催

- 蛍の見ごろ時間表をつくり、お知らせします。
- ふだんは自由散策。
- 期間内に一日だけイベント開催。
(基本的に自分たちが楽しむ)

西部合同夏祭りの実践に向けて 実行委員会を設立

- ◎ やりたい人、お祭り好き
 ⇒ 公募(スタッフを募集)
 (決して「義務でない」ことが大切)
- ◎ 専門知識のある人
 ・ 職人 ・ 宣伝がうまい人
 ・ パソコン、ホームページができる人 など
- ◎ 子育て世代の若者や中学・高校生
- ◎ 各区の調整役

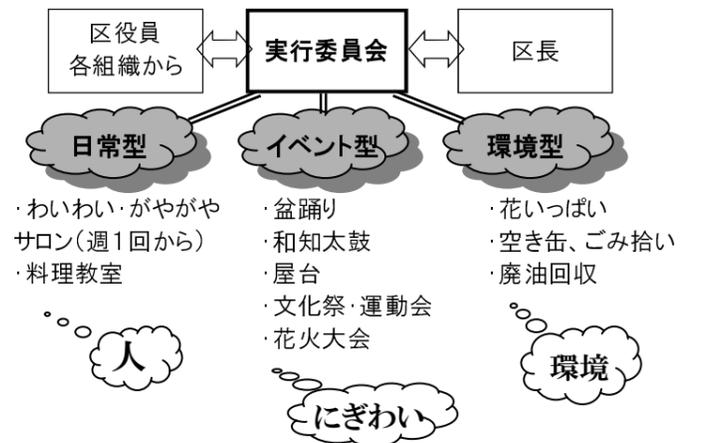
■ 説明

実行委員会を設立して西部合同夏祭りを企画運営。必要な人材を次のとおり具体的に検討しました。

■ 説明

すべてのプランを念頭におき、プランの性質に応じて3つの部署を設ける組織体制を提案しました。

全プランを実行するために



実践に向けて 種をまこう! 花いっぱい活動の実践に向けて プランをどう推進するか

- 各集落に持ち帰り、みんなの理解を得る。

しかし、みんなの理解を得るのは難しい…。

- ① このプランは『きっかけづくり』
 まずは、地域で花作りができる人たちで実践。
 (理解者を増やしていく。)

他のグループが企画したプラン実行につなげていく!

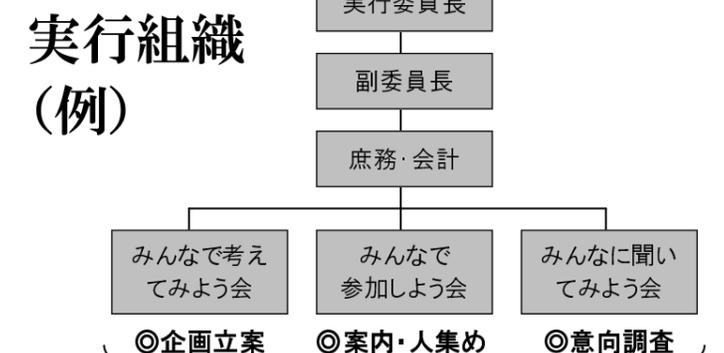
■ 説明

花いっぱい活動は、この企画書のすべてのプランの「きっかけ」づくりとして位置づけて推進。

■ 説明

企画立案や人集めなど業務ごとに部署を設けて、役割を分担して防災など安心安全活動を実践。

高めよう防災意識
 深めよう地域のきずな



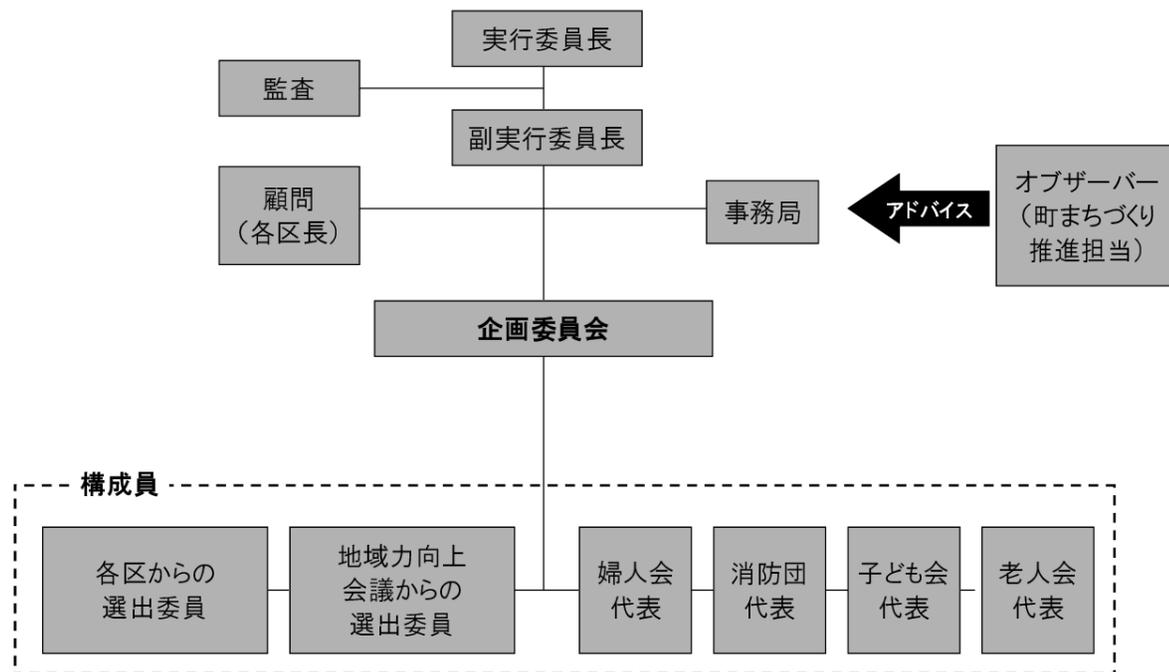
運営体制(組織)づくり (案)

企画書を実現していくには、それを実行するための運営体制(組織)づくりが必要です。
このことは地域力向上会議の最終回においてメンバーの共通認識として持つことができました。
本書の終わりに、運営体制(組織)のモデルを紹介します。

TYPE-A 実行委員会型 振興会型 TYPE-B

◎まずは、活動の実践をめざすなら

身近な活動の実践から地域づくりを始めていくことを重視した組織タイプです。



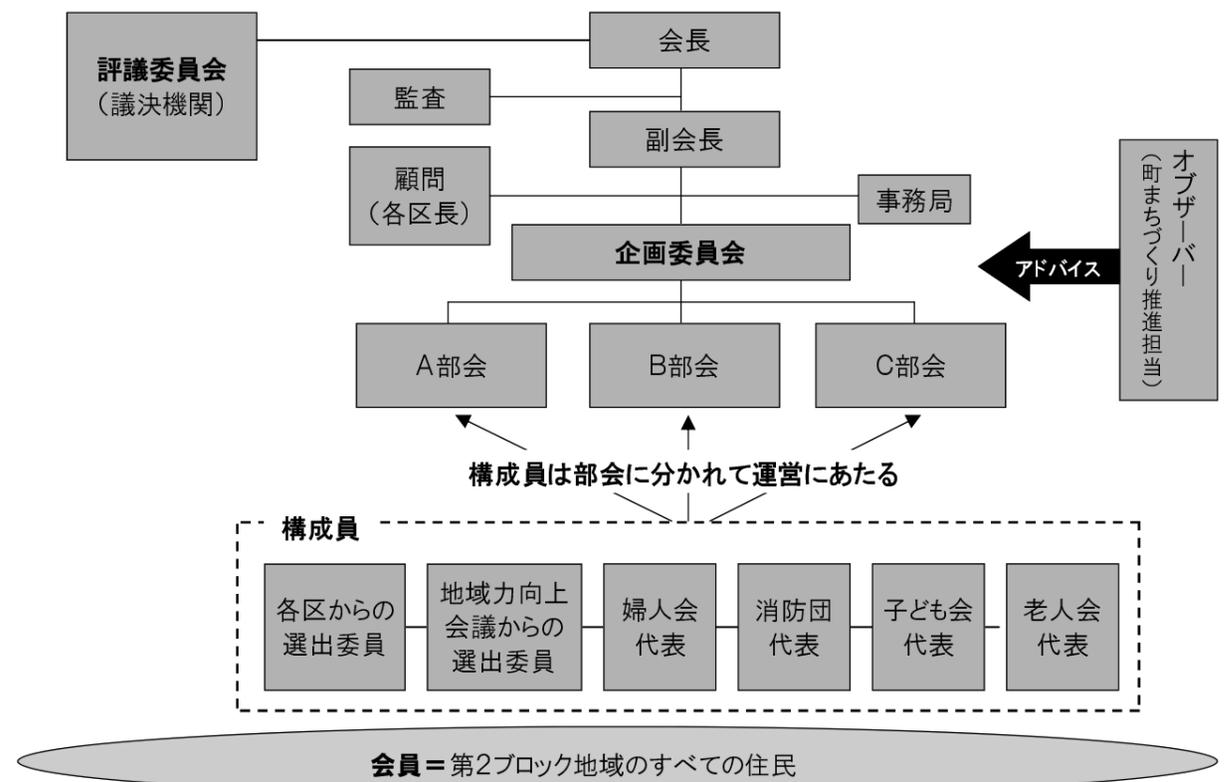
●ポイント

- 各区長は顧問として助言や区との連絡調整を担います。
- 組織の中核部門として「企画委員会」を設置。活動の企画や運営上の重要事項を決定します。
- 構成員の中から企画委員を選出し、同委員の中から正副実行委員長、事務局(局長・補佐)を選出します。事務局は総務、会計、原案の作成などを担います。

- 長所** 組織づくりや運営が容易。活動をすぐに実践するのに最適な組織形態。
- 短所** 新たな活動に取り組みにくい。まちづくり交付金は適用外、自力で資金確保が必要。

◎しっかりした組織づくりから始めるなら

身近な活動のみならず、将来を見据え地域課題を解決し住みよい地域づくりの実現をめざすタイプです。



●ポイント

- この組織形態は、おおむね小学校区(第2ブロック)を範囲として、地域のすべての住民を会員とする地域に開かれた「住民自治組織」です。
- 部会を設けて幅広い活動を展開します。
- 組織の中核部門として「企画委員会」を設置。正副会長、事務局、正副部会長で構成し活動の企画や運営上の重要事項を決定します。

- 長所** 幅広い地域活動や課題解決が可能。まちづくり交付金など財源確保が有利。
- 短所** 組織づくり(組織運営の成熟)に時間がかかる。運営の難易度が高い。